

令和3年度

「いのちの授業」

kagoshima local network

みなみネット



オンラインで
いのちの授業

下甕・海星中

薩摩川内市下甕の海星中
学校は、NPO法人がんサ

ポートかごしま理事長の三好綾さんとオンラインでつなぎ、「いのちの授業」を実施した。写真。生徒らはがんとの向き合い方などを学び、命の大切さや周囲への感謝を再認識した。

全校生徒33人が事前にがんに関する知識を学習。4日にあったオンライン授業では、三好さんが自身の経験やがんで亡くなった人のメッセージを話した。2年の中野陽愛さんは「がんの怖いイメージが減った。メッセージを聞いて、強く生きていこうと思った」と話した。

(高嶺千史)

南日本新聞掲載【2月11日】